Panasonic

全自動おそうじトイレ

アラウーノS

A·La·Uno S

施工説明書　温水洗浄組込型便器

〈床排水タイプ〉

排水芯		200または120	305以上445以下
戸建	便器本体	CH1101□□(7)	
	配管セット	CH110F	CH110FR
マンション	便器本体	CH1101H□□	CH1101□□
	配管セット	CH110F	CH110FR

〈壁排水タイプ〉

排水高さ		120
マンション	便器本体	CH1101P□□
	配管セット	CH110FP

□□：色品番
(7)：寒冷地仕様

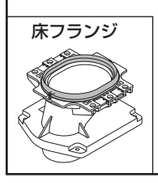
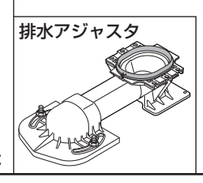
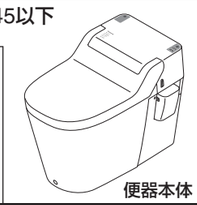
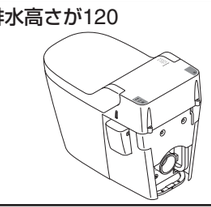
■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。　■施工説明書、取扱説明書、使いかたパネル、保証書は必ずお客様にお渡しください。

施工手順表

標準タイプ、高層階タイプ／リフォームタイプ／壁排水タイプ → 手洗器セットを組み合わせる場合は、先に手洗器セットの施工説明書をご覧ください。

- A-1 取り付け手順 1 ～ 5
- B-1 取り付け手順 1 ～ 7
- C-1 取り付け手順 1 ～ 3

→ 2 止水栓への接続 ～ 11 水抜き方法

A. 標準、高層階タイプ	B. リフォームタイプ	C. 壁排水タイプ
排水芯が200または120	排水芯が305以上445以下	排水高さが120
 便器本体	  便器本体	 便器本体

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しく施工していただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告

- 分解禁止
  - ■ 分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない
    感電、火災、けがの原因になります。
- 水場使用禁止
  - ■ 浴室など湿気の多い場所、水洗い掃除ができる床に設置しない
    感電や火災の原因になります。
- 禁止
  - ■ がたや緩みのある電源コンセントは使用しない
    火災や感電の原因になります。
  - ■ 電源コードで本体をつり下げない
    けがや発火、発煙の原因になります。
- 必ず守る
  - ■ 必ず上水道に接続する
    上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
  - ■ 定格15 A以上交流100 Vのコンセントを単独で使う
    他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
- アース線接続
  - ■ アース工事［D種（第3種）接地工事、接地抵抗100 Ω以下］を行う
    接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。

⚠注意

- 必ず守る
  - ■ 施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
    水漏れによる拡大損害の原因になります。
  - ■ 排水アジャスタの横引管切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く（リフォームタイプ）
    汚れたまま接着すると水漏れの原因になります。
  - ■ 排水アジャスタの接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着する（リフォームタイプ）
    施工に不備があると水漏れで家財などを濡らすおそれがあります。

取り付け前に

〈公的機関の確認事項〉

1. 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。
   弊社営業所、または販売店にご相談ください。
2. アラウーノS便器は不燃材ではありません。
3. アラウーノS設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

〈水関連の注意事項〉

1. 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
2. **使用水道圧範囲は69 kPa（16 L/分 動水圧）～735 kPa（静水圧）{0.7～7.5 kgf/cm²}です。**
   98 kPa{1.0 kgf/cm²}以下では、おしり、ビデの洗浄量が少なくなります。
   手洗器セットと同時にお使いの場合は
   98 kPa（19 L/分 動水圧）～735 kPa（静水圧）
   {1.0～7.5 kgf/cm²}です。
   他の水栓器具を同時に使用したときも上記水圧と流量が必要です。
3. 井戸水などを使用しますと故障の原因となります。
4. 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。
   弊社営業所、または販売店にご相談ください。

〈床工事関連の注意事項〉

1. 2階以上に設置の場合には、トイレ床面の防水工事をお薦めします。
2. 床仕上げは必ず水平にしてください。床面が水平でない場合は、便器がぐらついたり水漏れするおそれがあります。

〈電気関連の注意事項〉

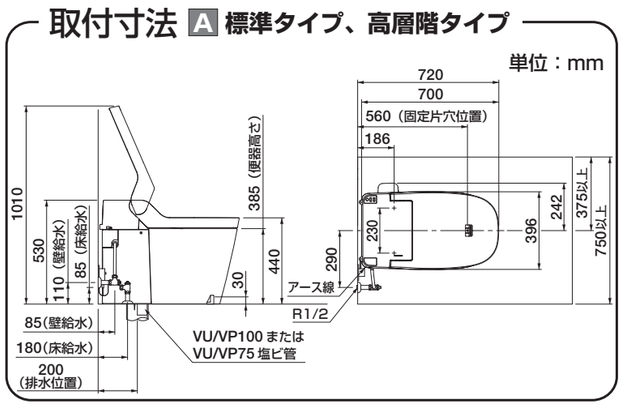
1. 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
2. AC100 V埋込みアースターミナル付ダブルコンセントが必要です。
   寒冷地仕様の場合は、コンセントが2つ必要です。
   手洗器セット（自動単水栓タイプ）を組み合わせる場合は、便器本体とは別にコンセントが1つ必要です。
3. 製品のコード長さは1.0 mです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。
   （便器を中心に幅400 mmの範囲には、便器や便ふたと干渉するため、電源コンセントを配置しないでください。）

〈その他〉

1. 2台以上並べて設置される場合は、リモコン操作時に相互干渉のおそれがありますので、必ず天井までの間仕切りを設けてください。
2. リモコンからの信号は、トイレ室内の間接波で本体に受信されますので、リモコンや本体受信部の上部に棚やカウンターなどを設置しないでください。
3. 直射日光やインバータ照明のもとでは、作動しにくいことがあります。
4. 黒色や濃い色の壁紙や天井の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。商品の納入前に必ず現場をご確認ください。
5. 商品の使用温度範囲は0～40 ℃です。
6. 検査時の残水が凍結している場合がありますので、温めてから施工してください。
7. 標準タイプ（CH1101□□(7)＋CH110F）は、3階建て以下の戸建て住宅のみ設置可能です。

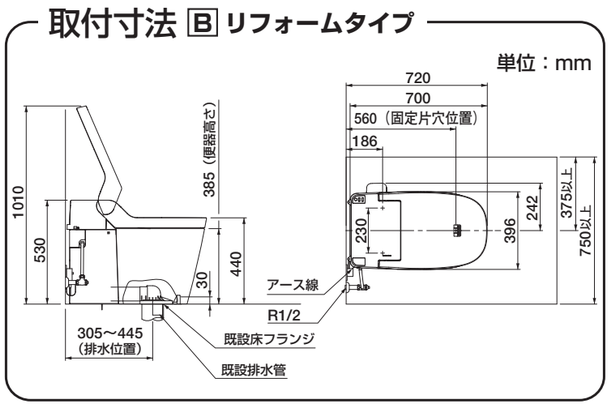
取付寸法 A 標準タイプ、高層階タイプ

単位：mm



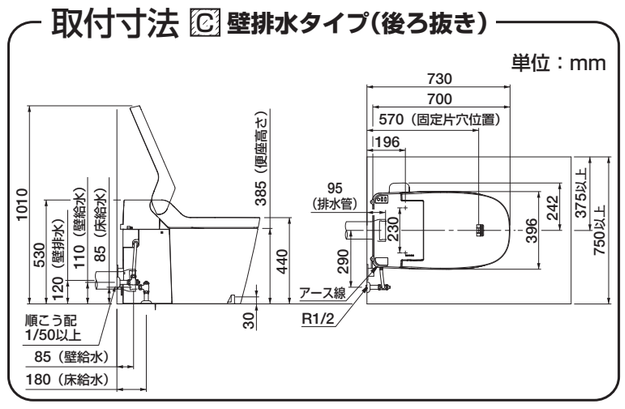
取付寸法 B リフォームタイプ

単位：mm



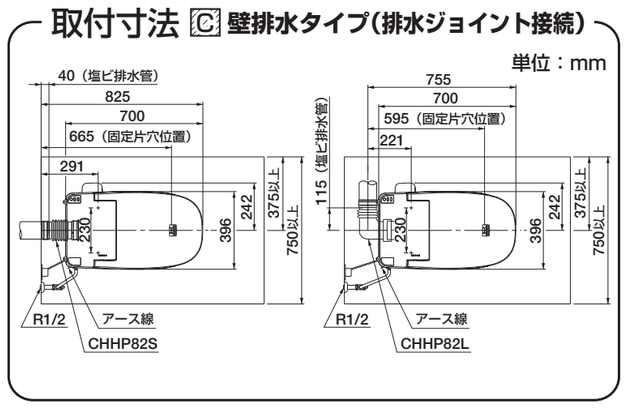
取付寸法 C 壁排水タイプ（後ろ抜き）

単位：mm



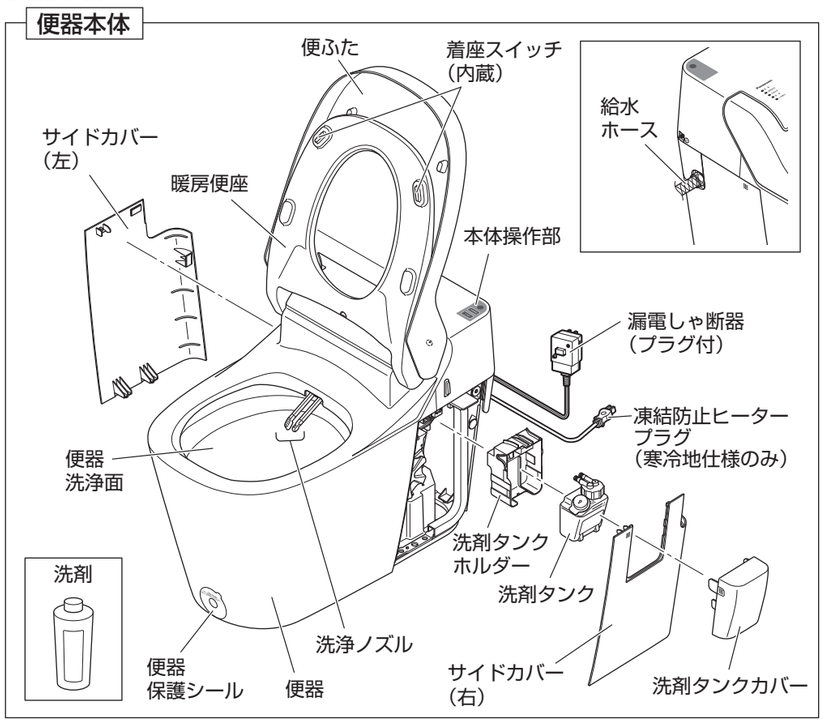
取付寸法 C 壁排水タイプ（排水ジョイント接続）

単位：mm

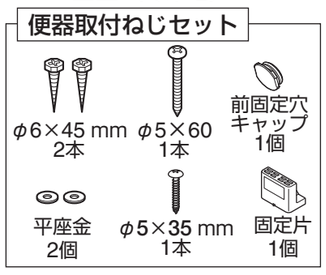


各部の名前と部品確認

便器本体　CH1101□□、CH1101H□□（高層階）、CH1101P□□（壁排水）、CH1101□□7（寒冷地）

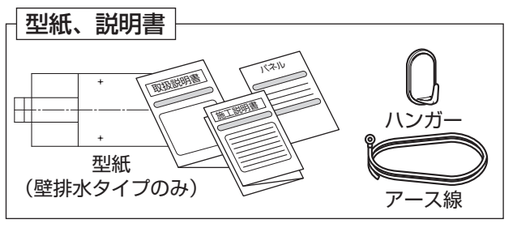


便器取付ねじセット

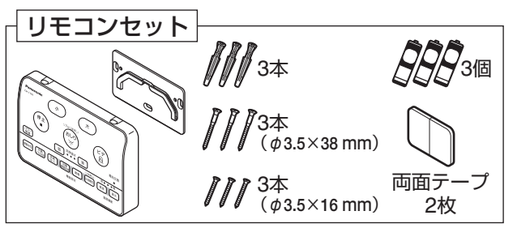


接続パッキン（Ⓒ壁排水タイプ）

型紙、説明書



リモコンセット

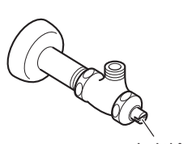


便器本体
便器本体
便器取付ねじセット アプセットタッピンねじ（φ6×45 mm）2本、 平座金 2個、 トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）1本、 なべタッピンねじ（φ5×60 mm）1本、 固定片 1個、 前固定穴キャップ 1個
説明書セット 取扱説明書、施工説明書（本書）、 壁排水用型紙（壁排水タイプのみ） ハンガー、使いかたパネル、 アース線
リモコン リモコン、リモコンホルダー、 単3形乾電池 3個、両面テープ 2枚、 皿ねじ（φ3.5×16 mm）3本、 皿ねじ（φ3.5×38 mm）3本、 アンカープラグ 3本
サイドカバー（左・右）
洗剤タンクセット 洗剤タンク、洗剤タンクホルダー、 洗剤タンクカバー
洗剤
壁排水用接続パッキン （壁排水タイプのみ）

配管セット

給水

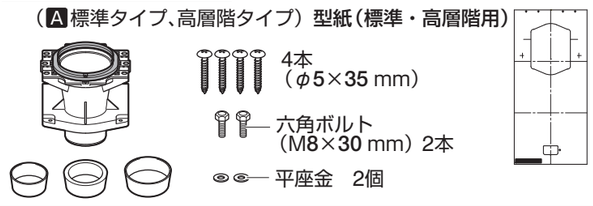
ⓐ止水栓セット



排水

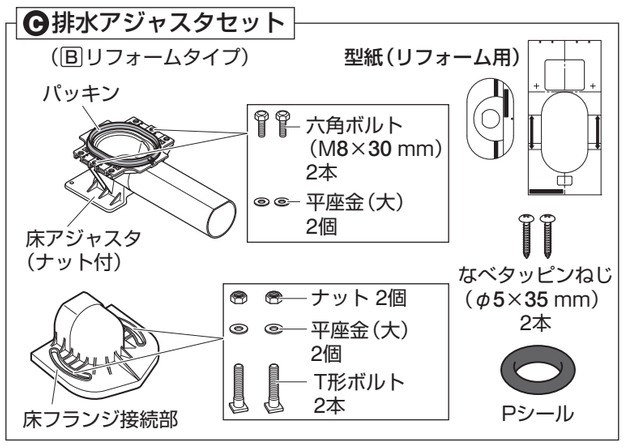
ⓑ床フランジセット

（A 標準タイプ、高層階タイプ）型紙（標準・高層階用）



Ⓒ排水アジャスタセット

（Ⓑリフォームタイプ）　型紙（リフォーム用）



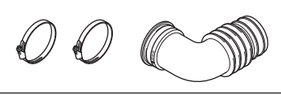
配管セット
ⓐ止水栓セット 止水栓本体、給水管（L=76）、わん座
ⓑ床フランジセット 床フランジ、パッキン、 VU75用リング、VP100用リング、 VU100用リング、 トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）4本、 六角ボルト（M8×30 mm）2本、 平座金 2個、標準用型紙
Ⓒ排水アジャスタセット 床アジャスタ（ナット付）1個、 六角ボルト（M8×30 mm）2本、 平座金 2個、 床フランジ接続部1個、 T型ボルト 2本、平座金 2個、 ナット 2個、 なべタッピンねじ（φ5×35 mm）2本、 Pシール、リフォーム用型紙1、 リフォーム用型紙2

	品番	給水	排水
標準・高層階	CH110F	a	b
リフォーム	CH110FR	a	c
壁排水	CH110FP	a	なし

排水ジョイント（別売品）

品番：CHHP82S

品番：CHHP80L

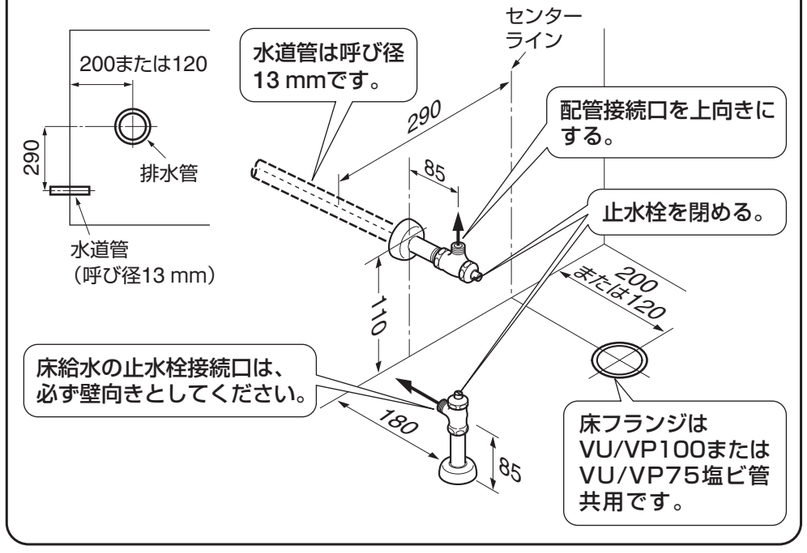


A-1 取り付け手順 標準タイプ、高層階タイプ 1 ～ 5 まで

1 配管工事

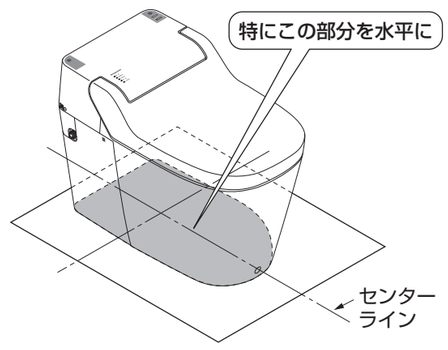
単位：mm

- 水道管と止水栓を寸法通り取り付ける。
  ※止水栓は必ず専用の止水栓をお使いください。
  ※標準の給水位置（給水取付可能範囲内）の場合、同梱の止水栓と給水管で取り付け可能です。

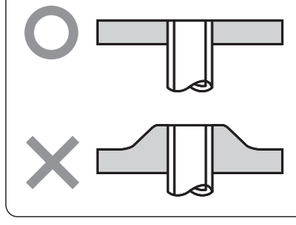


2 床工事

- 床仕上げは、必ず水平に施工する。



排水管周囲は、凹凸がないようにする。
（既設の床フランジがある場合には、床面と既設の床フランジ上面の高さを合わせる）



⚠注意

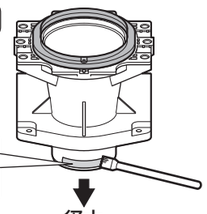
必ず守る

- **床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **床面と既設の床フランジ上面の高さを合わせて施工する**
  段差がある状態で便器を設置すると、排水不良、水漏れの原因になります。

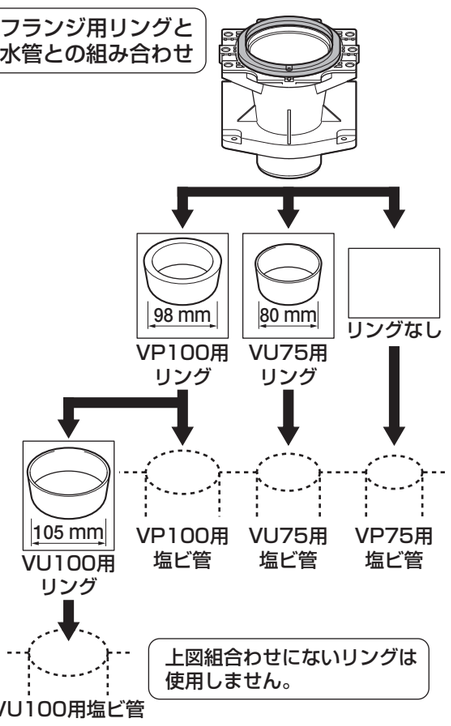
3 床フランジとリングの取り付け

- 排水管に適合するリングを使用し、床フランジを排水管に接着する。

リングの接着方向



床フランジ用リングと排水管との組み合わせ



⚠注意

必ず守る

- **床フランジ内にリングを同梱しているため必ず床フランジ内からリングを取り除いて設置する**
  床フランジ内にリングが残ったまま設置すると、排水不良の原因となります。
- **床フランジとリングの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う**
- **床フランジとリングの接着は、接着面全面に接着剤を塗り奥まで十分接着する**
  守らないと床フランジ部よりの水漏れの原因となります。

4 床フランジの取り付け

単位：mm

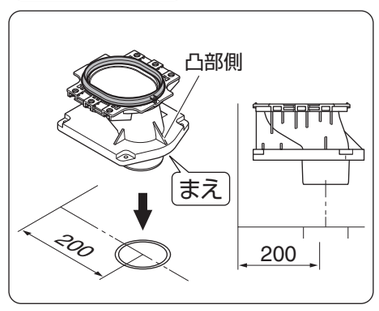
❶ 排水管を床面と面一に切断する。

❷ 床フランジをセンターラインに合わせて、床面にあたるまで差し込み、排水管と接着する。

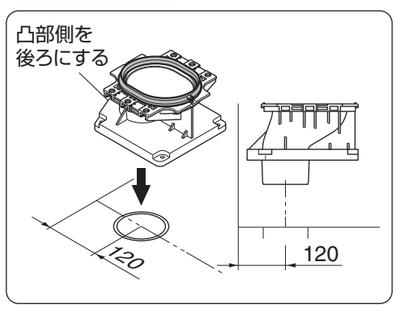
❸ ねじで床フランジを固定する。

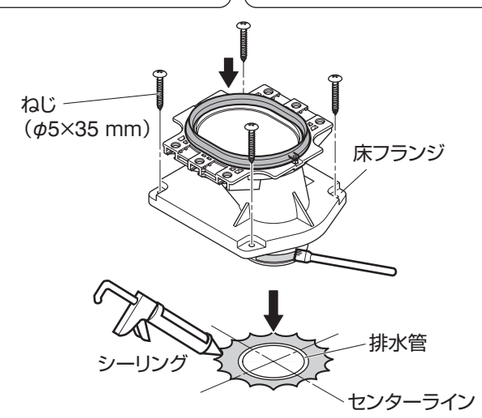
- 床フランジは、フランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。
- 床材がタイルの場合は、木栓または市販のプラグを使用し、床フランジのフランジ部の下面がタイルに接するようにしてください。

排水芯200の場合



排水芯120の場合





⚠注意

必ず守る

- **2階以上のトイレルームは、必ず床フランジまわりのシーリングをする**
  シーリングをしないと階下への水漏れの原因となります。
- **床フランジが床からの浮きや、がたがないようにしっかりと4か所を締めつける**
  締めつけがわるいと便器がぐらつき、水漏れの原因となります。

5 便器の取り付け

❶ 標準用型紙を床フランジの形状にあわせておき、床固定位置（型紙の ┼ 部2か所）に下穴（φ3）をあける。
（床がコンクリート、タイルの場合は、別途アンカープラグを用意し打ち込む）

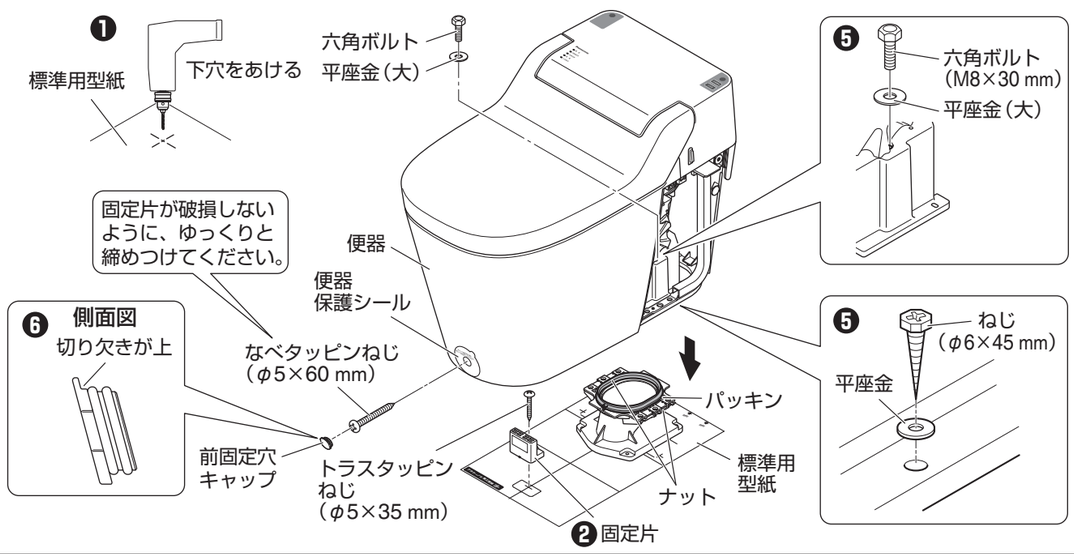
❷ 固定片を型紙の切り欠き部にはめ「前」を手前にし、トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）で固定する。

❸ 標準用型紙を取り外す。

❹ フランジ上部にパッキンおよびナットが付いていることを確認する。

❺ 床フランジの上から便器をすえおき、六角ボルト（M8×30 mm）2本とねじ（φ6×35 mm）2本で便器と床面のすき間がなくなるまで、締めつける。

❻ 前方よりねじ（φ5×60 mm）を締めつけ、便器保護シールをはがし、前固定穴キャップを取り付ける。



⚠注意

禁止

- **便器取り付けの際、電源コードをはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

必ず守る

- **便器はがたつきがなくなるまで左右均等に締めつける**
- **パッキンの上下の向きを確認する**
  パッキンの上下の向きを間違えると水漏れの原因となります。

重要

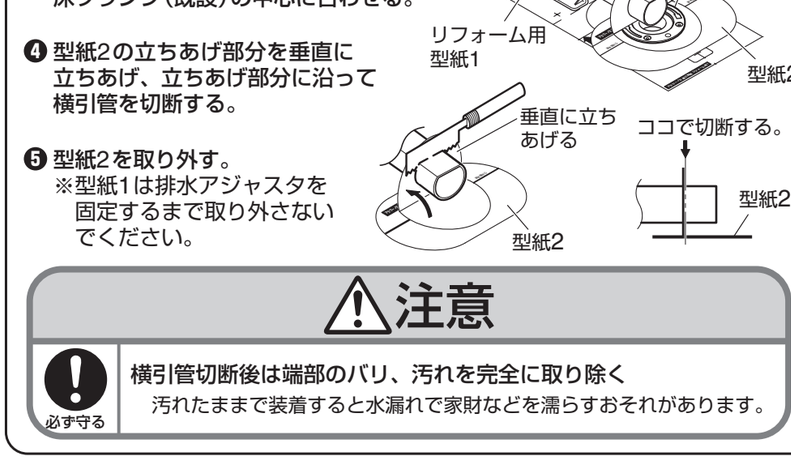
パッキン断面図

➡ 3 ページの 2 「止水栓への接続へ」

B-1 取り付け手順 B リフォームタイプ 1 ～ 7 まで

1 給水位置の確認

単位：mm



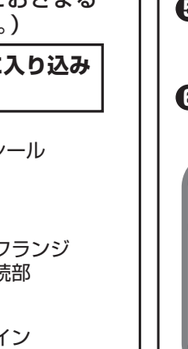
給水取付可能範囲

- …取り付け可能
- …オプションの延長給水ホース（CH100R01）で取り付け可能
- ただし …手洗器左設置の場合、取り付け不可
- …手洗器右設置の場合、取り付け不可

斜線部以外　取り付け不可

2 止水栓の取り付け

水道の元栓を閉め既設給水位置に止水栓を取り付ける。
※止水栓は必ず専用の止水栓をお使いください。



ご注意

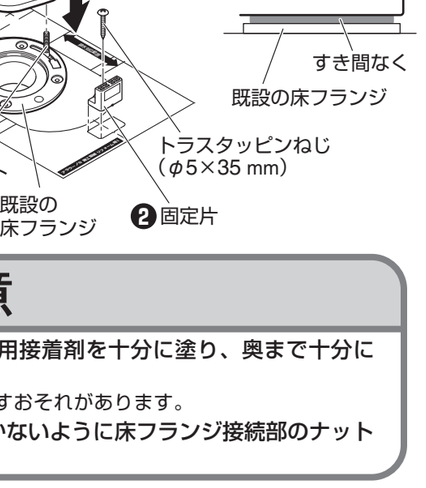
止水栓の取り付け向きは、付属のチラシに従い、取り付けてください。

3 既設の便器を取り外す

❶ 既設の便器を取り外す。

❷ 既設Pシールをきれいに取り除く。

❸ 便器と排水芯の中心線を床にけがく。



※床フランジがないタイプやPシールを用いないタイプ、床フランジの損傷が激しい場合は新しい床フランジを別途ご用意ください。（CH420R10PF）

4 排水アジャスタ・横引管の切断

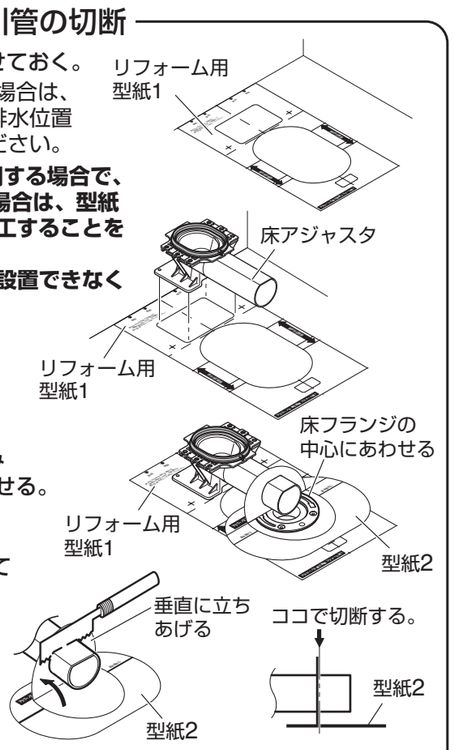
❶ リフォーム用型紙1を壁にそわせておく。
※排水芯が445 mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
※アラウーノS専用手洗器を使用する場合で、排水芯が445 mmより大きい場合は、型紙を壁から80 mm以上離して施工することをお薦めします。（手洗器用排水管を壁に沿って設置できなくなります。）

❷ 床アジャスタを型紙の形状にあわせて仮置きする。

❸ 型紙1に型紙2を重ねる。
型紙2を床アジャスタに差し込み床フランジ（既設）の中心に合わせる。

❹ 型紙2の立ちあげ部分を垂直に立ちあげ、立ちあげ部分に沿って横引管を切断する。

❺ 型紙2を取り外す。
※型紙1は排水アジャスタを固定するまで取り外さないでください。



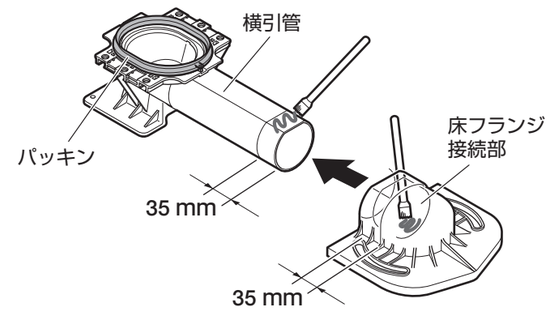
⚠注意

必ず守る

- **横引管切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く**
  汚れたままで装着すると水漏れで家財などを濡らすおそれがあります。

5 排水アジャスタの組み立て

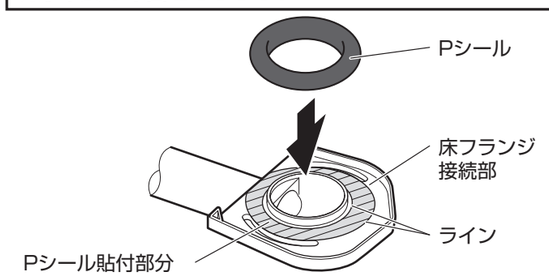
❶ 床フランジ接続部の差し込みと横引管の差し込みしろ（35 mm）に塩ビ用接着剤を均一に十分塗布する。



❷ 横引管を最後まで、きちんと差し込む。

❸ Pシールを床フランジ接続部裏側にセットしてください。
（必ず、Pシールが2本のライン間（ 部）におさまるように押し広げながら、はりつけてください。）

はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



6 排水アジャスタの取り付け

❶ リフォーム用型紙1の床固定位置（型紙の ┼ 部2か所）に下穴（φ3）をあける。
床がコンクリート、タイルの場合は、別途アンカープラグを用意し打ち込む。

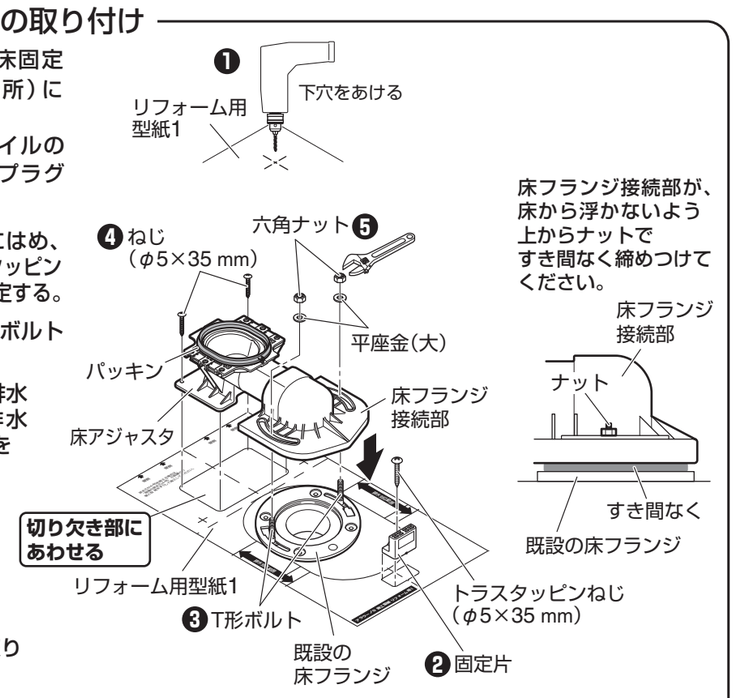
❷ 固定片を型紙の切欠部にはめ、「前」を手前にし、トラスタッピンねじ（φ5×35 mm）で固定する。

❸ 既設の床フランジにT形ボルトを取り付ける。

❹ 型紙の形状にあわせて排水アジャスタを置き、排水アジャスタ壁側2か所をなべタッピンねじ（φ5×35 mm）で固定する。

❺ 床フランジ接続部の上からナットで締め付ける。

❻ リフォーム用型紙1を取り外す。



床フランジ接続部が、床から浮かないよう上からナットですき間なく締めつけてください。

⚠注意

必ず守る

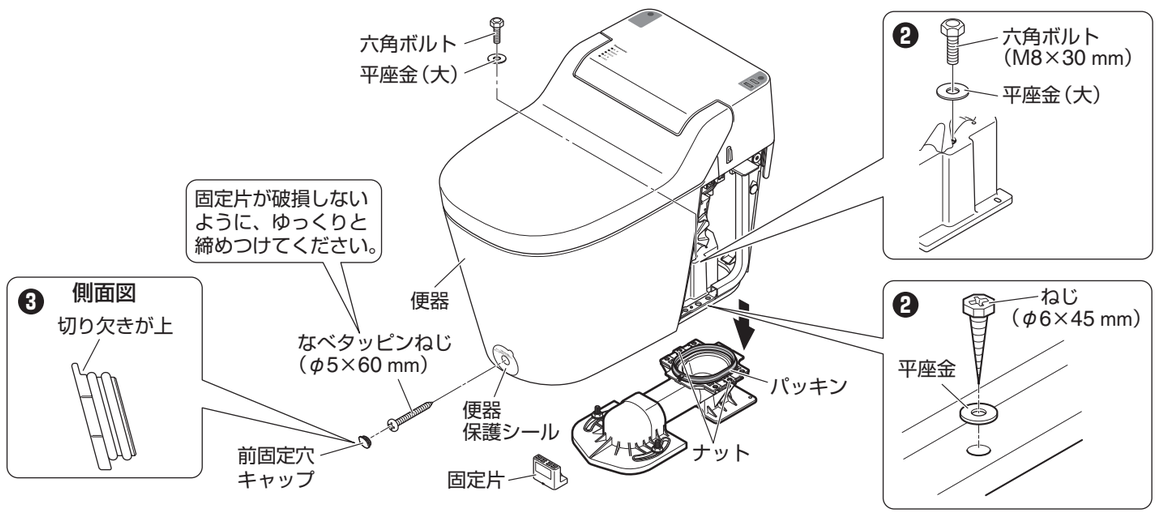
- **排水アジャスタの接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着する**
  施工に不備があると水漏れで家財などを濡らすおそれがあります。
- **排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット（2か所）をしっかりと締めつける**

7 便器の取り付け

❶ 排水アジャスタ上部にパッキンおよびナットが付いていることを確認する。
※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

❷ 排水アジャスタの上から便器をすえおき、六角ボルト（M8×30 mm）2本とねじ（φ6×45 mm）2本で便器と床面のすき間がなくなるまで締めつける。

❸ 前方よりねじ（φ5×60 mm）を締めつけ、便器保護シールをはがし、前方より前固定キャップを取り付ける。



⚠注意

禁止

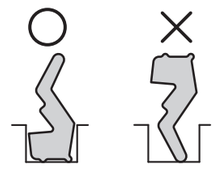
- **便器取り付けの際、電源コードをはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

必ず守る

- **便器はがたつきがなくなるまで左右均などに締めつける**
- **パッキンの上下の向きを確認する**
  パッキンの上下の向きを間違えると水漏れの原因となります。

重要

パッキン断面図



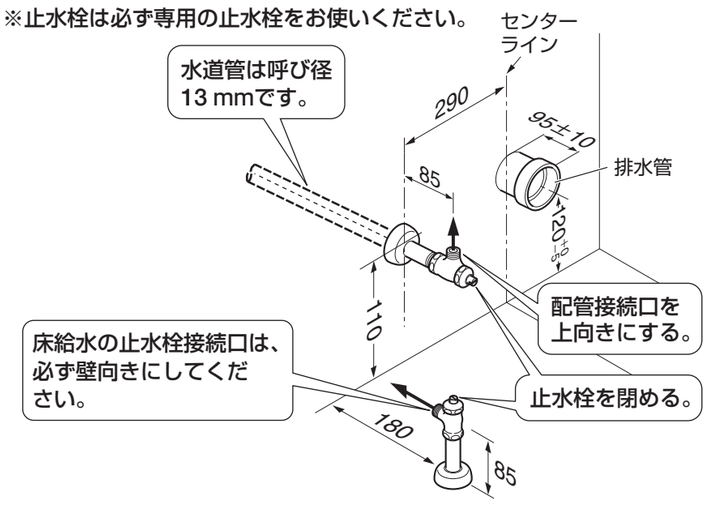
➡ 3 ページの 2 「止水栓への接続へ」

C-1 取り付け手順 C 壁排水タイプ 1 ～ 3 まで

1 配管工事

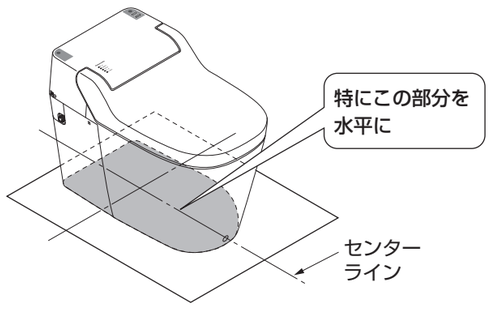
単位：mm

• 水道管と止水栓を寸法通り取り付ける。
※止水栓は必ず専用の止水栓をお使いください。



2 床工事

• 床仕上げは、必ず水平に施工する。



⚠注意

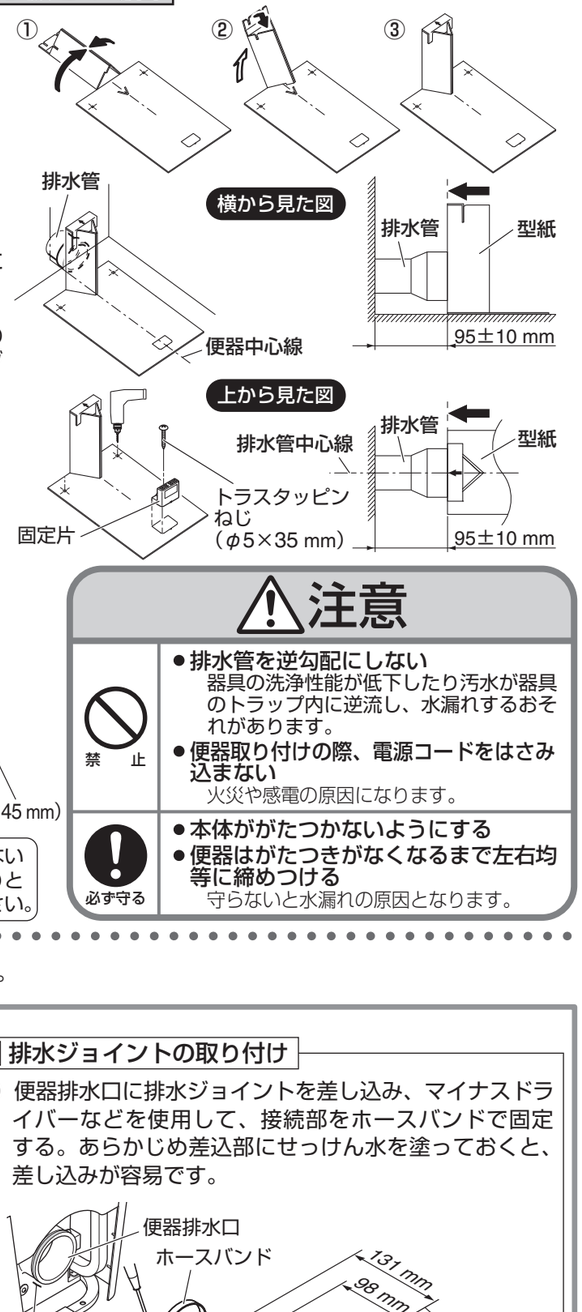
必ず守る
床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

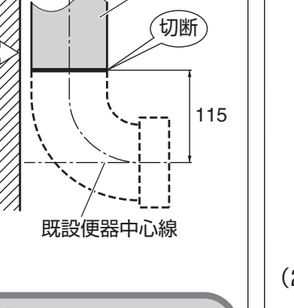
3 便器の取り付け

排水高さ120 mm、後ろ抜きの場合

❶ 型紙を作る。
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

1. 排水管の先端に壁排水用型紙を合わす。（型紙の矢印を排水管の中心に合わす。）
2. 便器取り付け穴（2か所）に下穴（床が木製の場合は、φ3 mm）をあける。
床がコンクリート、タイルの場合は、別途アンカープラグを打ち込む。
3. 固定片を切欠部にはめ、「前」を手前にし、ねじで固定する。
4. 型紙を取り除く。





❹ 下穴位置を確認し、ねじ（3 か所）で確実に固定し、便器保護シールをはがし、前固定穴キャップを取り付ける。

⚠注意

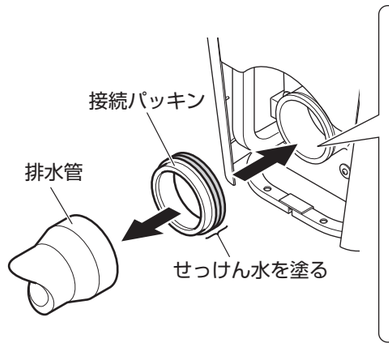
禁止
排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

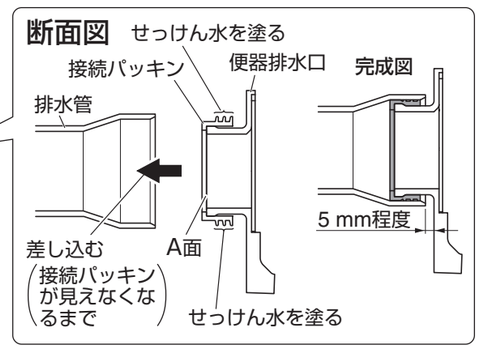
便器取り付けの際、電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。

必ず守る
本体ががたつかないようにする
便器はがたつきがなくなるまで左右均等に締めつける
守らないと水漏れの原因となります。

❷ 便器排水口に接続パッキンを取り付ける。
※断面図を参照し、便器排水管と接続パッキンのA面が密着するまで差し込んでください。

❸ 接続パッキンの蛇腹部分にせっけん水を塗り、本体を排水管につきあたる所（接続パッキンが見えなくなるまで）まで押し込み設置する。





排水ジョイント接続の場合

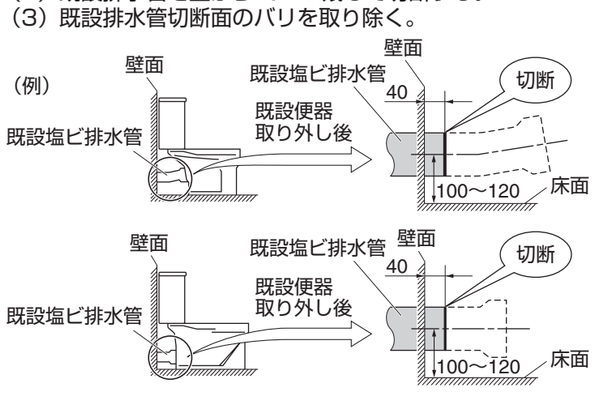
• 既設の排水管高さが100 mm～120 mmの場合、別売の排水ジョイントで接続することができます。排水ジョイントは、既設塩ビ排水管がVP75（外径φ89の管）の場合のみ対応できます。

排水ジョイントS（CHHP82S）を使用する場合

1 既設排水管の切断

単位：mm

（1）既設便器を取り外す。
（2）既設排水管を壁から40 mm残して切断する。
（3）既設排水管切断面のバリを取り除く。

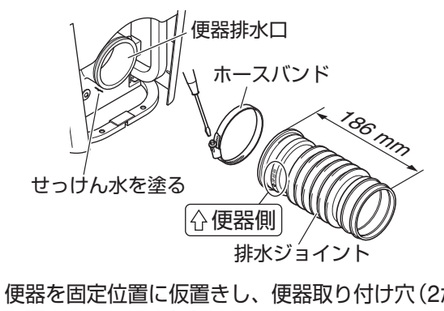


⚠注意

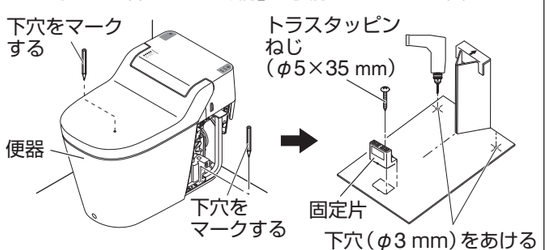
必ず守る
既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

2 排水ジョイントの取り付け

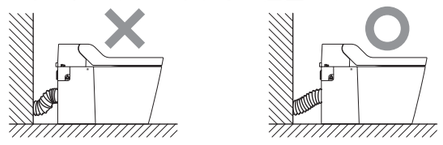
（1）便器排水口に排水ジョイントを差し込み、マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する。
あらかじめ差込部にせっけん水を塗っておくと、差し込みが容易です。



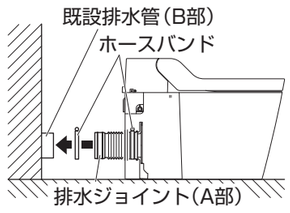
（2）便器を固定位置に仮置きし、便器取り付け穴（2か所）に下穴（φ3 mm）をあける。
便器取り付け穴を基準にして型紙を置き、固定片を切り欠き部にはめ、「前」を手前にし、ねじで固定する。



• 固定位置を決定する場合は排水ジョイントがしわにならない位置にしてください。



（3）排水ジョイントの差込部（A部）内周と既設排水管の差込部外周（B部）に塩ビ用接着剤を塗り充分に差し込んでから、マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する。
その際には、排水ジョイントにしわができないように締めつけてください。



⚠注意

禁止
排水ジョイントによる排水管と便器との接続においては、逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

⚠注意

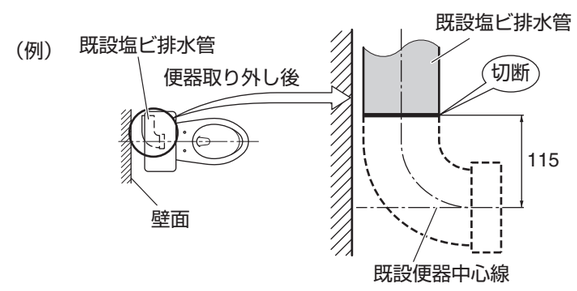
必ず守る
ホースバンドで固定の際には、排水ジョイントにしわができないように締めつける
守らないと水漏れのおそれがあります。

排水ジョイントL（CHHP80L）を使用する場合

1 既設排水管の切断

単位：mm

（1）既設便器を取り外す。
（2）既設排水管を便器中心線から115 mm残して切断する。
（3）既設排水管切断面のバリを取り除く。

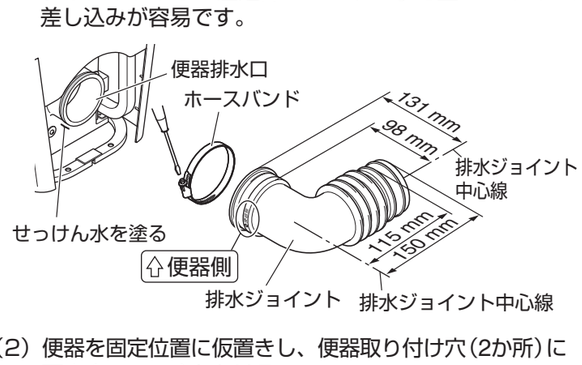


⚠注意

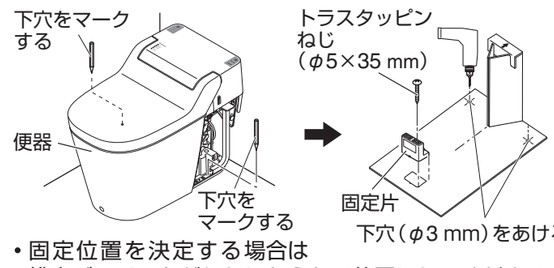
必ず守る
既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

2 排水ジョイントの取り付け

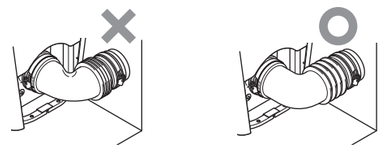
（1）便器排水口に排水ジョイントを差し込み、マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する。あらかじめ差込部にせっけん水を塗っておくと、差し込みが容易です。



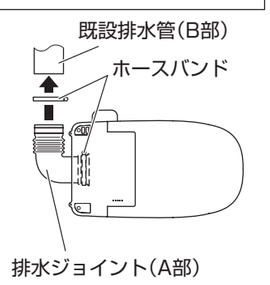
（2）便器を固定位置に仮置きし、便器取り付け穴（2か所）に下穴（φ3 mm）をあける。
便器取り付け穴を基準にして型紙を置き、固定片を切り欠き部にはめ、「前」を手前にし、ねじで固定する。



• 固定位置を決定する場合は排水ジョイントがしわにならない位置にしてください。



（3）排水ジョイントの差込部（A部）内周と既設排水管の差込部外周（B部）に塩ビ用接着剤を塗り充分に差し込んでから、マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する。
その際には、排水ジョイントにしわができないように締めつけてください。



⚠注意

禁止
排水ジョイントによる排水管と便器との接続においては、逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

⚠注意

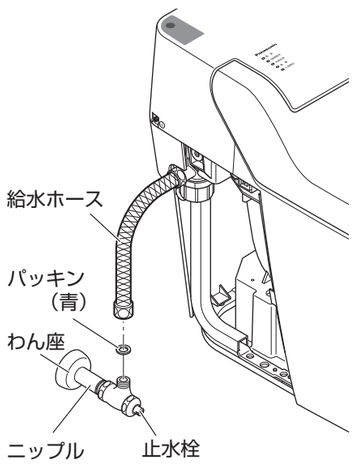
必ず守る
ホースバンドで固定の際には、排水ジョイントにしわができないように締めつける
守らないと水漏れのおそれがあります。

➡ 2「止水栓への接続へ」

2 止水栓への接続（1 給水位置の確認で既設給水位置が給水取付可能範囲にあるか、確認してください。）

a. 向かって、左側に給水位置がある場合

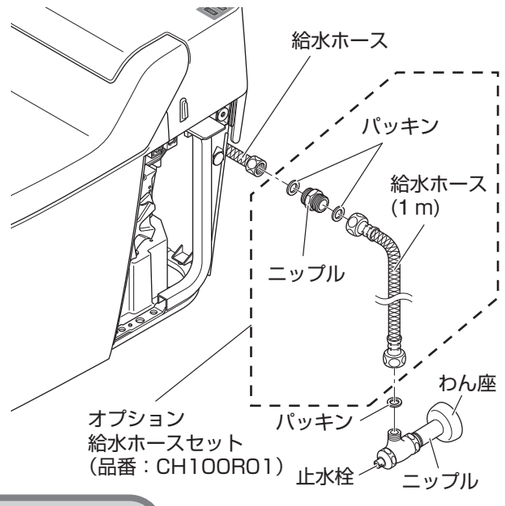
止水栓と便器本体を給水ホースで接続する。



b. 向かって、右側に給水位置がある場合

オプション給水ホースセット（品番：CH100RO1）を手配ください。

ご注意
必ずオプション給水ホースセット（品番：CH100RO1）を使用してください。
市販のものを使用されると、流量が出ないため洗浄性がわるくなるおそれがあります。

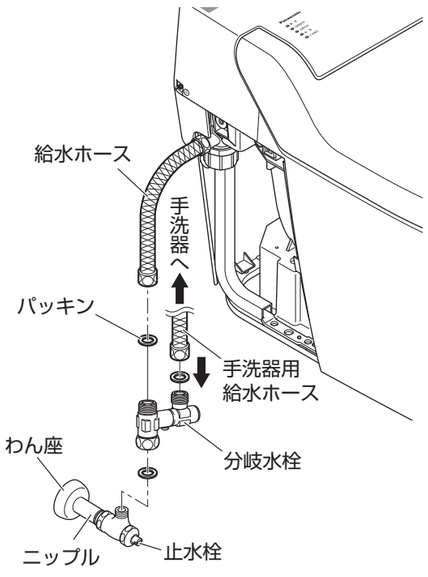


c. 手洗器セットの場合

給水ホースと手洗器用給水ホースの分岐水栓への取り付け位置に注意してください。
※給水ホースと手洗器用給水ホースの取り付け位置が逆になると、便器、手洗器に適切な流量が供給されません。

止水栓の位置が、手洗器と逆側にある場合

※手洗器用給水ホースは、便器本体の後側を通して接続してください。



⚠注意

必ず守る
止水栓にがたのないことを確認する
守らないと水漏れの原因になります。

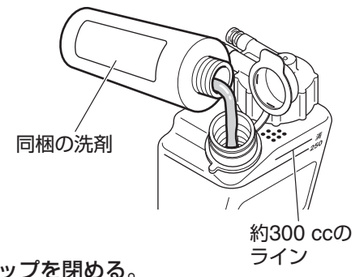
※給水ホースがねじれたり折れたりしないようにしてください。（曲げ半径50 mm以上）
便器洗浄水量などが不足する場合があります。

3 洗剤タンクの取り付け

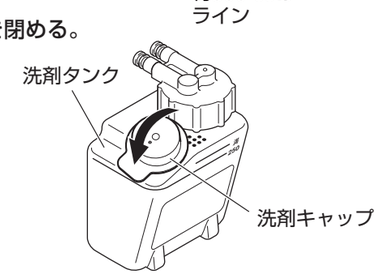
※お客様への引き渡しが、1ヶ月以上先の場合は、洗剤を洗剤タンクに入れないでください。

❶ 洗剤キャップを開ける。

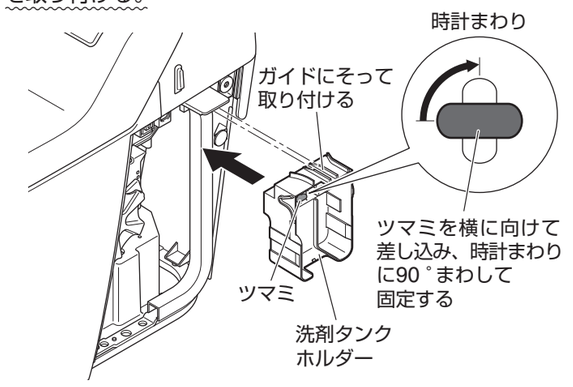
❷ 同梱の洗剤を洗剤タンクに入れる。
ラインの位置で約300 ccです。



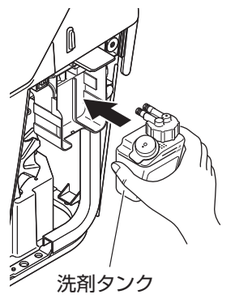
❸ 洗剤キャップを閉める。



❹ 洗剤タンクホルダーをガイドにそって右側面に取り付ける。
ツマミを時計まわりに90 °まわして、洗剤タンクホルダーを取り付ける。



❺ 洗剤タンクを洗剤タンクホルダーに差し込む。
洗剤タンクをつきあたるところまで押し込む。



4 リモコンの準備

リモコンホルダーの取り付け

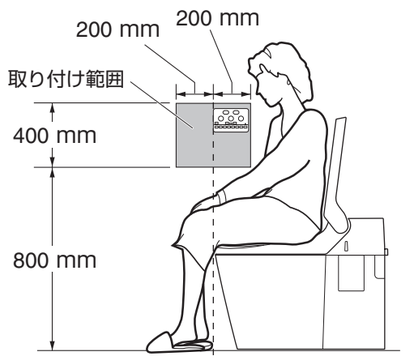
お客様と十分ご相談の上、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。

壁の色やお部屋の形状によっては、リモコン信号を受信しにくい場合があります。

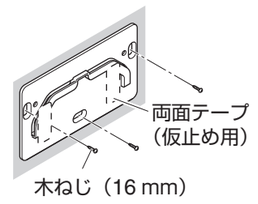
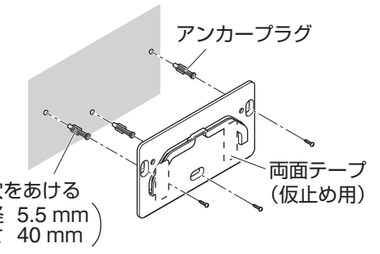
リモコンの信号が受信することを確認してから壁への取り付け位置を決めてください。

※同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。
リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)

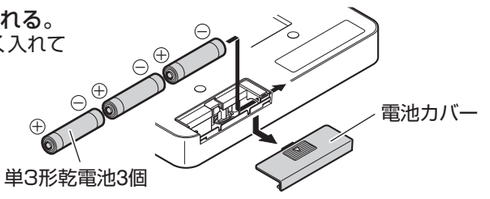
(位置の目安)



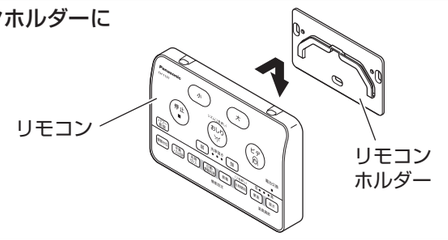
リモコンホルダーの取り付け例

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材
●各種合板　●ビニールクロスなど	●石こうボード　●タイル　●コンクリートなど
	
●同梱の木ねじ3本で壁面に取り付ける	●アンカープラグを差し込み木ねじで締めつける

●リモコンに電池を入れる。
電池の⊕、⊖を正しく入れてください。



●リモコンをリモコンホルダーに差し込む。

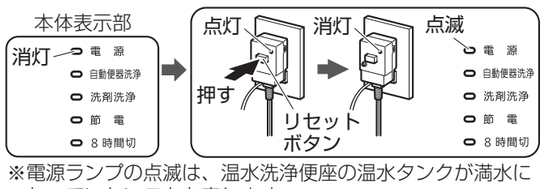


5 本体への通電

❶ 水道の元栓を開ける。

❷ アース線をアース端子に接続する。

❸ 漏電しゃ断器(プラグ付)をコンセントにしっかり差し込む。
本体表示部の電源ランプが点滅します。
約10秒間は全ての操作を受け付けません。
※電源ランプが点滅しない場合は、漏電しゃ断器(プラグ付)のリセットボタンを押してください。



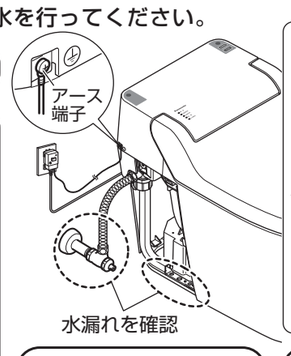
※電源ランプの点滅は、温水洗浄便座の温水タンクが満水になっていないことを表します。

6 温水タンクの給水と水漏れの確認

必ず温水タンクの給水を行ってください。

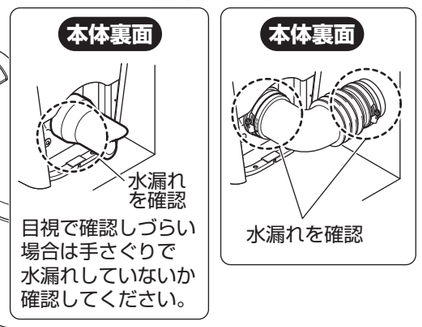
❶ 止水栓を開く。

❷ リモコンの(おしり)を押す。
温水タンクに給水しはじめ、約1分で満水になり、自動的に停止します。
温水タンクが満水になると、「ピッ」と音が鳴り給水が終わると共に、電源ランプが点滅から点灯に変わります。
洗浄水温は適温になるまで、約5～10分かかります。



❸ 本体操作部の 洗剤開始 を押す。
(約30秒後「ピー」と鳴ります。)

壁排水タイプ



❹ 5～6回本体操作部の 大洗浄 または リモコンの (大) スイッチを押し、止水栓や排水管と本体との接続部から水漏れがないことを確認する。

7 サイドカバー、洗剤タンクカバーの取り付け

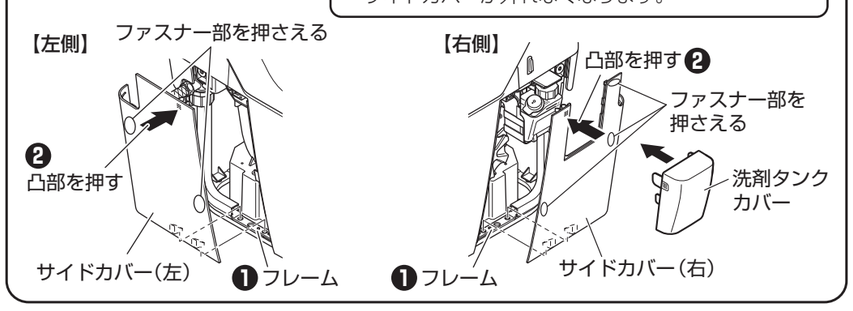
❶ サイドカバーをフレーム穴にあわせておく。

❷ 凸部をラッチに合わせて押す。(カチッと鳴ります)

❸ ファスナー部を押し込む。(左2か所、右3か所)

❹ 洗剤タンクカバーを取り付ける。

ご注意
サイドカバーと床の間をコーキングしないでください。
サイドカバーが外れなくなります。



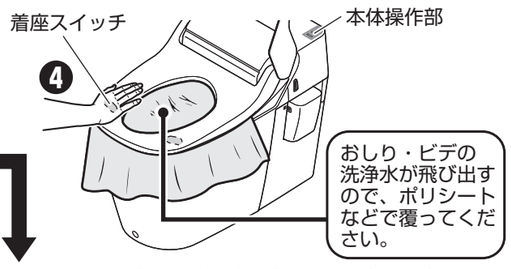
8 試運転

●次の順番にしたがって、洗浄便座の各機能をチェックしてください。

❶ 便座・便ふたが、手でスムーズに開閉しますか。

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初め数回は、泡がでないことがあります。
その場合は、本体操作部の 洗剤開始 ボタンを押してください。
それでも泡がでない場合は、下記の原因が考えられます。
- 洗剤タンクが十分差し込まれていない(⇒3)
- 洗剤が不足している ⇒ 洗剤タンクに8分程度まで洗剤を入れてください。

❸ 便座は温まっていますか。



※以下の操作は、便座の着座スイッチ部を押さえながらスイッチを押す。

❹ おしりノズル(右側のノズル)が出てきますか。
温水になっていますか。
(停止)で止まりますか。

❺ ビデノズル(左側のノズル)が出てきますか。
(停止)で止まりますか。

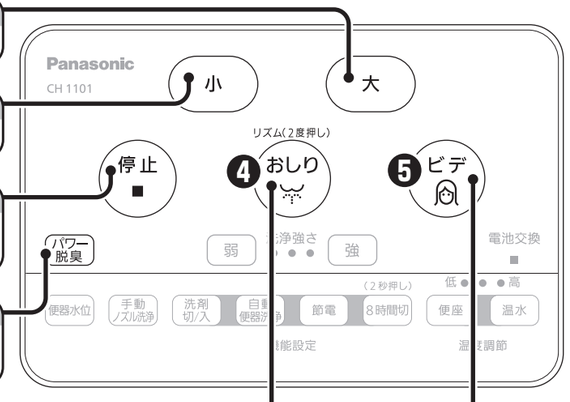
大
便器大洗浄を行います。

小
便器小洗浄を行います。

停止
おしり洗浄、ビデの洗浄、ノズル掃除を止めます。

パワー脱臭
通常脱臭、パワー脱臭の切替をします。

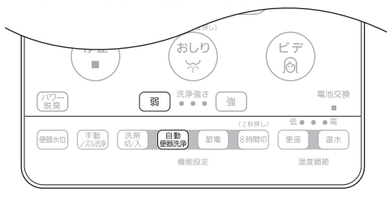
おしり
おしり洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返す、刺激感のあるリズム洗浄になります。30秒程度動作させ・床面に水漏れがないか確認してください。



ビデ
ビデ洗浄がスタートします。

9 便器洗浄水量の調節(市町村指定の場合)

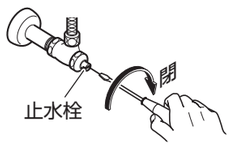
- (弱)と(自動便器洗浄)を同時に2秒間押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、増量モードが設定されます。
※一度、増量モードに設定すると、元に戻せませんので、ご注意ください。
- 出荷時は標準モードに設定しています。
- 標準モードの洗浄水量： 5.7 L(大洗浄) 4 L(小洗浄)
(壁排水タイプは約4.5 L)(動水圧98 kPa時)
- 増量モードの洗浄水量：10 L(大洗浄) 4 L(小洗浄)
(壁排水タイプは約4.5 L)(動水圧98 kPa時)
- 一部の地域では、使用条件が決められています。
各行政機関の指示に従って設定してください。



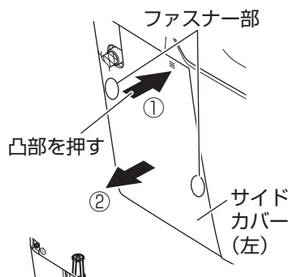
10 ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

- 施工直後は、ストレーナに配管内の水アカやゴミ、シールテープなどがつまり、洗浄性能が得られなくなります。
試運転後必ずストレーナの掃除をしてください。

❶ 止水栓を閉める。

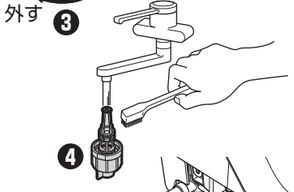


❷ サイドカバー(左)を外す。
①サイドカバー(左)の凸部を押す。
②すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。
(ファスナー部2か所を引きはがす。)

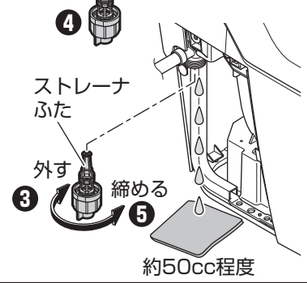


❸ ストレーナふたを外す。
※ストレーナふたの取り外しの際に指のはさみこみにご注意ください。
※取り外す時は、約50 cc程度水が出ますので、ぞうきんなどをご準備ください。

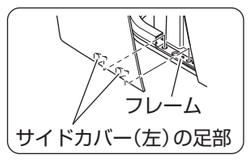
❹ ストレーナを取り出しブラシなどを使いきれいに水洗いする。

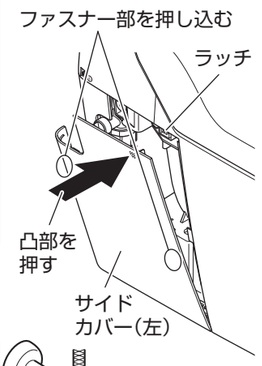


❺ ストレーナふたを元通りに「カチッ」となるまで締め付ける。
ストレーナふたの締めつけの際に指のはさみこみにご注意ください。



❻ サイドカバー(左)を元通り取り付ける。
①サイドカバーの足部をフレームの穴にあわせておく。
②サイドカバーの凸部をラッチに合わせて押す。※
(カチッと鳴ります。)
③ファスナー部(2か所)を押し込む。
※引っかかったまま無理に押し広げないでください。ラッチ部が破損する場合があります。





❼ 止水栓を開け水漏れがないことを確認する。

⚠注意

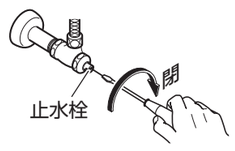
必ず守る

ストレーナふたはしっかりと締めつける
締めつけないと水漏れの原因となります。

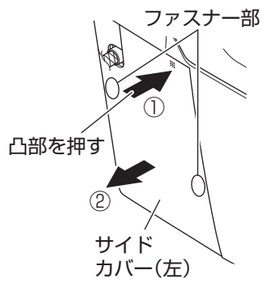
11 水抜き方法(施工後、長時間使用しない場合)

- 長期間使用しないときは、本体の水を抜き、漏電しゃ断器(プラグ付)とリモコンの電池を抜いてください。
また、洗剤タンクを取り外して水洗いしてください。
※一般地仕様の止水栓および便器本体内の水抜き方法については下記をご覧ください。

❶ 止水栓を閉める。

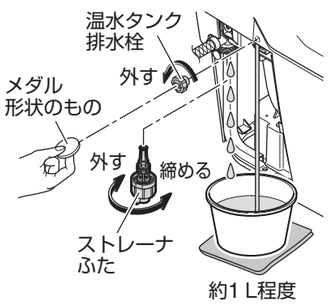


❷ サイドカバー(左)を外す。
①サイドカバー(左)の凸部を押す。
②すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。
(ファスナー部2か所を引きはがす。)

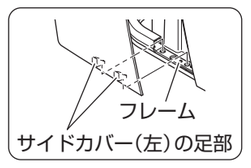


❸ 水抜きをする。
①ストレーナふたを外す。
②温水タンク排水栓をメダル形状のもので外す。
※取り外す時は、約1 L程度水が出ますので、バケツなどをご準備ください。

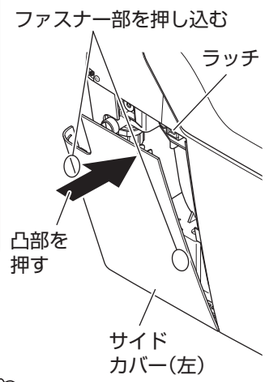
❹ リモコンの (大) または本体操作部の 大洗浄 を押し、本体内部の水を抜く。
(ブザー音が「ピピピッピピピッ」と鳴ります。)

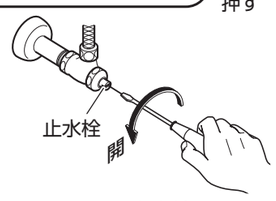


❺ ストレーナおよび温水タンク排水栓を取り付ける。



❻ サイドカバー(左)を元通り取り付ける。
①サイドカバーの足部をフレームの穴にあわせる。
②サイドカバーの凸部をラッチに合わせて押す。※
(カチッと鳴ります。)
③ファスナー部(2か所)を押し込む。
※引っかかったまま無理に押し広げないでください。ラッチ部が破損する場合があります。





※再び使用するときは、止水栓を開き、6の❷の手順にしたがって温水タンクに給水してください。

⚠注意

必ず守る

ストレーナふたおよび温水タンク排水栓はしっかりと締めつける
しっかりと締めつけないと水漏れの原因となります。

施工完了チェックリスト

商品を取り付けられた方へのお願い！！

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	チェック項目	結　果
1	●バスルーム内など、湿気の多い場所に設置していませんか？	
2	●中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	●便器にがたつきがありませんか？	
4	●便器は床に、固定しましたか？	
5	●「止水栓」は開いていますか？	
6	●交流100 V 15 Aに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	●アース線はアース端子に接続してありますか？	
8	●電源コンセントにがた・緩みはありませんか？	
9	●サイドカバーは確実に取り付けてありますか？	

No.	チェック項目	結　果
10	●洗浄スイッチを操作し、次項を確認してください。	
	＊ 大洗浄にてトイレットペーパーが確実に流れますか？	
	＊ 洗浄水は、一周まわっていますか？一周まわらない場合は、①ストレーナを掃除してください。②水圧を確認してください。	
	＊ 便器と床面の水漏れはありませんか？	
	＊ 配管部の水漏れはありませんか？(事前に配管を拭き、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。)	
11	●温水タンクへの給水を行いましたか？(温水タンクが満水になっていない場合、電源ランプが点滅します。)	
12	●温水洗浄便座は正常に動作しているか確認しましたか？	
13	●ストレーナは掃除しましたか？	
14	●長時間使用しない場合、水抜きを行いましたか？	
15	●トイレルームに「使いかたパネル」は掲示していますか？	

お願い
1. 施工説明書、取扱説明書、使いかたパネル、保証書をお客様にお渡しください。
2. トイレ内の見やすい壁に使いかたパネルを掛けてください。

施　工　日	施　工　店　名	担　当　者

パナソニック電工株式会社
水廻りシステム事業部
〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2010
Ta1008-1020